

事業実績書

事業名		街中だがしや楽校 2019in めまづ
場所		沼津市仲見世商店街・新仲見世商店街地内
期間		平成30年 7月 15日 ～ 平成31年 3月28日
	日程	実施項目・作業項目
事業内容		●実施内容 「お手伝い（体験）～お駄賃（報酬）～駄菓子屋での購入」という、かつてあった駄菓子屋を取り巻く環境を再現。 ◎「キッズハローワーク」 仲見世、新仲見世の3箇所に設置。実店舗、外部出店ブース、なかみせステージなどで募集する仕事を記載した求人票を掲示。子ども達が仕事を選ぶ。 ◎「仲見世、新仲見世の実店舗、外部出店ブースでのお仕事体験」 20分を1クールとしてお仕事体験。仕事内容は店舗によって異なり、そうじ、呼びこみ、POPづくり、接客などを行う。仕事完了時にお店の人からお駄賃（報酬）として擬似通貨「めまづダラ」をもらう。 ◎「ワークショップ」 出展者の指導を受けながらものづくりやアートなどの体験をする。終了時に「めまづダラ」をもらう。 ◎「なかみせステージ」 音楽やダンスなどを上演。ステージまわりの仕事を体験することで「めまづダラ」をもらう。 ◎「だがしやマーケット」 お仕事や体験をして得られた「めまづダラ」で駄菓子を購入する。新仲見世の空き店舗を活用した。 ◎「働く車」（雨天中止） 中央公園に警察・消防・自衛隊の車両や建設重機、起震車など普段子供ども達が触れることができない車等を展示し、実際に乗ったり、触ったり、そこで働いている人とふれあってもらう。 ●実施場所 沼津仲見世商店街・沼津新仲見世商店街・沼津大手町商店街の協力店舗および空きスペース 沼津中央公園（雨天中止） ●参加対象 沼津市及び周辺市町の小学生。沼津市、三島市、長泉町、清水町の各教育委員会の後援を受け、小学校にチラシを配布した。 ●人員配置・役割分担 別紙実行委員会組織図参照 実行委員会は仲見世・新仲見世商店街、青年会議所、商工会議所青年部、三島開催の経験者、沼青振のメンバーで構成した。 当日のスタッフ49名、他ボランティアとして高校生14名、中学生15名、一般1名 仲見世商店街16店、新仲見世商店街5店、大手町商店街2店で職業体験を受け入れ。外部出店者×15、ワークショップ×14、警察車両×2、消防車両×3、自衛隊車両×2、起震車。ステージ出演×7組 ●会議・打ち合わせ等 <実行委員会> ① 9月21日（顔合わせ・前回開催の振り返り・今回の方向性・スケジュール確認） ② 10月16日（出店、ワークショップ、協賛） ③ 11月9日（出店、ワークショップ、協賛・中央公園会場）

事業内容

- ④12月3日（出店、ワークショップ、協賛、中央公園会場・組織図）
 ⑤12月27日（キッズハローワークのオペレーション、事前チラシ）
 ⑥1月15日（キッズハローワークのオペレーション、出店者調整、事前チラシ）
 ⑦2月12日（人員配置、ボランティア、役割分担、当日チラシ）
 ⑧2月25日（出店者お仕事内容調整、タイムスケジュール）
 <役員会議>（実行委員会開催前に事前準備・方向性の確認を行なった）
 ①9月18日 ②10月9日 ③11月4日 ④12月3日 ⑤2月4日 ⑥2月22日

<その他>

- 6月24日 第2回開催のポスターセッション
 8月26日 三島だがしや楽校にブース出展
 11月19日 特別協賛の依頼（沼津信用金庫）
 11月～ 出店、ワークショップ、ステージ出演者募集、協賛・後援依頼
 11月～ ボランティア協力依頼
 11月22日 商店街連盟役員会にて協力依頼
 12月 仲見世・新仲見世店舗に開催告知、挨拶と説明
 1月上旬 事前チラシ、ポスター作成
 1月 広報沼津に原稿提出
 2月4日 チラシ仕分け～小学校へ配布
 2月9日 協力店舗に仕事内容決定の依頼
 2月22日 出展者説明会
 2月下旬 当日チラシ作成
 2月下旬 沼津警察署に道路使用許可申請 沼津消防署に火気使用申請
 2月下旬 既存店仕事内容決定、求人票等作成
 3月2日 前日準備

<PR・告知>

- 2月15日 広報沼津
 2月28日 ボイスキュー出演
 3月1日 静岡新聞
 3月2日 静岡新聞
 事前配布 A4 チラシ 24000部（沼津市・三島市・長泉町・清水町の全公立小学校に配布）
 A2 ポスター 200部
 当日配布 A3 チラシ
 ホームページ（<https://dagashiyanumazu.jimdo.com/>）

●前日～当日スケジュール

（3月2日）

- 15:00 実行委員会メンバー集合
 20:30 解散

（3月3日）

- 7:00 実行委員会メンバー集合
 8:00 ボランティア受け入れ、外部出店・ワークショップ搬入
 9:45 開会式
 10:00 お仕事・体験スタート
 14:30 お仕事・体験終了
 15:00 だがしやマーケット終了
 15:10 閉会式
 15:20 撤収開始
 17:00 撤収終了

事業効果	・ 雨天ではあったが、付き添いの大人も含めて 2500 人ほどの来街者があった。 ・ 仲見世、新仲見世・大手町の実店舗に協力を依頼した。前回まで 15 分としていた 1 回の体験時間を 20 分、またインターバルを 10 分とすることで、店舗側の負担が軽減され、スムーズな受け入れが可能となり、効率的なお仕事体験に繋がった。 ・ 本イベントを PR のチャンスととらえ、チラシなどを積極的に配布する店舗が増えた。 ・ 子どもでも販売できる商品、子どもでもできる仕事を各店で工夫をしてくださり、楽しく有意義な体験の場となった。 ・ 商店街というオープンな場所で行ったことで、多くの一般の方の目に留まり、子ども達にアドバイスや励ましの声を掛けていただいた。 ・ 普段見ることのない積極的な我が子の姿に感動したという声も聞かれた。 ・ 数多くの学生ボランティアに協力していただき、世代間の交流にも繋がった。
今後の活動予定	・ 6 月 18 日 実行委員会 ・ 組織の見直し。 ・ 有料化への検討。 ・ 協力店舗を増やす。多様な業種の導入。 ・ 店作りや商品仕入れ、DM 制作など、当日に至るまでの事前体験の実施を検討。
自己評価	・ 前回の反省を生かし、受け入れ店舗・出展者の負担軽減がうまく機能した。 ・ 第 1 回から参加しているという子も多く、イベントとして定着してきたと思われる。 ・ 体験している子ども達に比して一般の買物客が少ない。子ども達の実践機会を増やすために、また店舗・出展者の売上に結びつけるために、商店街と連携した集客のための施策が必要。 ・ 商店街が会場のため小売店が主となり同じような仕事が多くなってしまっているため、次回以降は他業種を積極的に取り入れていきたい。 ・ 今回は大手町商店街からも参加店舗があったが、協力店舗を増やすため、他商店街にも声をかけていきたい。



